

CEA, CEDシリーズ 取扱説明書

◆安全に関する重要な内容です。
ご使用のまえに本取扱説明書を必ずお読みください。
本取扱説明書は必ず保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告



禁止

- ◆製品の分解・改造はしないでください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆適合プラグ以外使用しないでください。
⇒火災・感電の原因となります。
- ◆定格電圧・定格電流を守ってご使用ください。
⇒焼損・火災の原因となります。
- ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等
強い衝撃を与えないでください。
⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
- ◆ぬれた手でプラグの抜き挿しを
行なわないでください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。



必ず守る

- ◆プラグはコンセントへ確実に押し込んでください。
⇒火災・感電・地絡の原因となります。
- ◆プラグを抜く際はプラグを持ち、コンセント面
に対して垂直に抜き、コードを引っ張らないで
ください。
⇒コンセントの破損・脱落の原因となります。
- ◆コンセントが破損した場合は必ず使用を
中止してください。
⇒火災・感電の原因となります。



注意



禁止

- ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。
⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
- ◆抜止めコンセントの場合、プラグロック状態では
絶対に引っ張らないでください。
⇒破損の原因となります。



必ず守る

- ◆乾燥した場所でご使用ください。
⇒機能不備の原因となります。
- ◆プレートフタで手をはさまないように
注意してください。
⇒けがの原因となります。

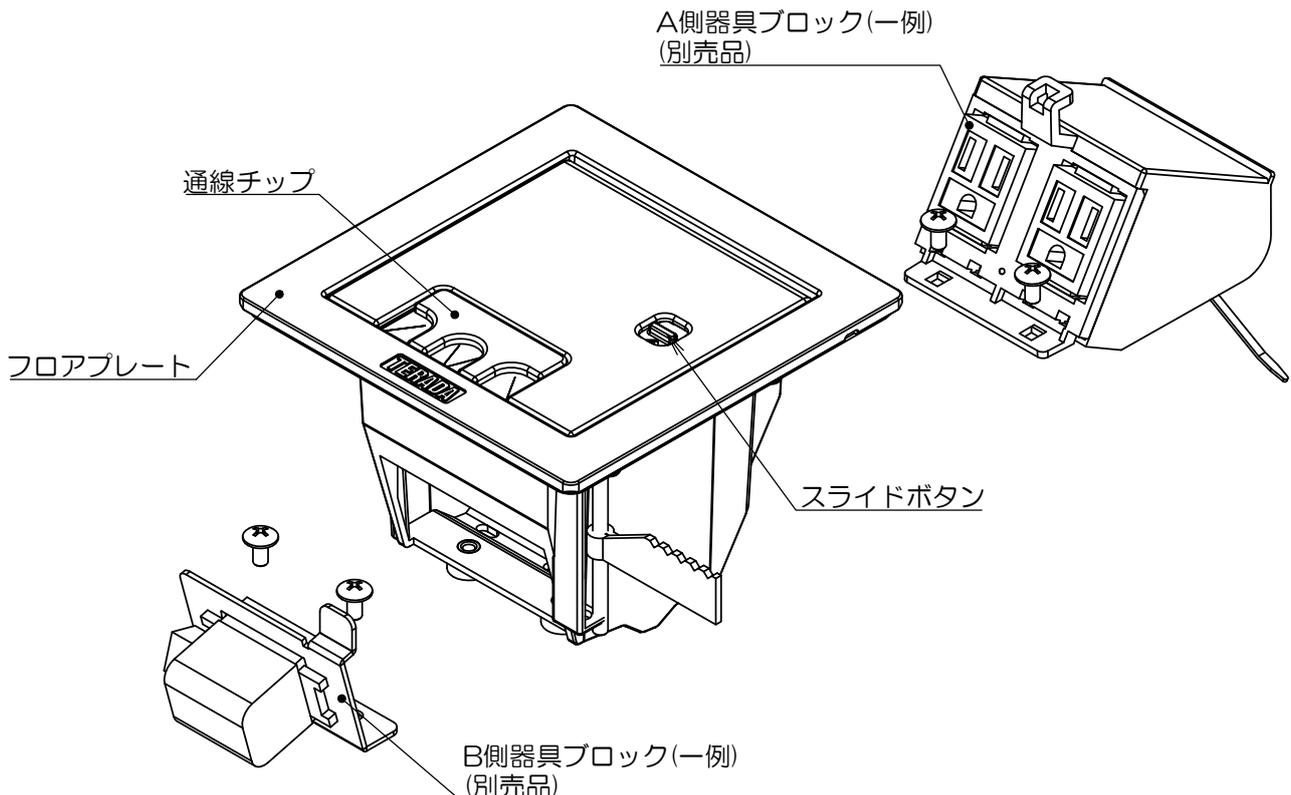
保守・点検について



必ず守る

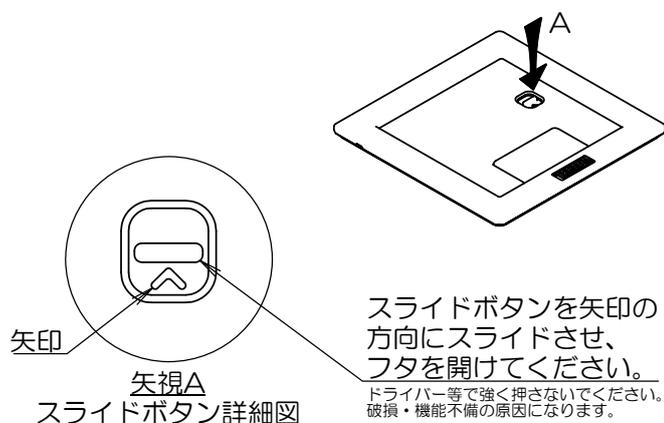
- ◆本製品及び使用プラグは定期的に点検を行ない、
乾いた布などでホコリを取り除いてください。
⇒焼損・火災の及びプレートの開閉不良の
原因となります。
- ◆プレートの表面の汚れは、
固く絞った濡れ雑巾等で拭き取ってください。
- ◆本製品が破損・故障した場合は、
速やかに施工工事店へ連絡してください。

◆部品構成と名称

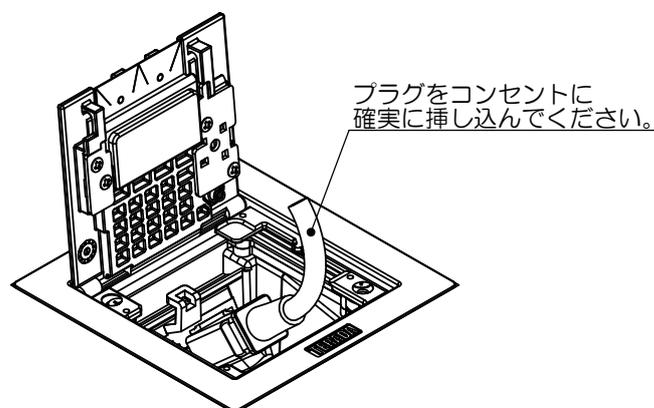


ご使用方法

1 プレートフタを開ける

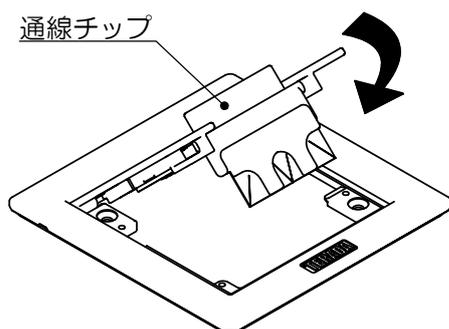


2 プラグの挿し込み



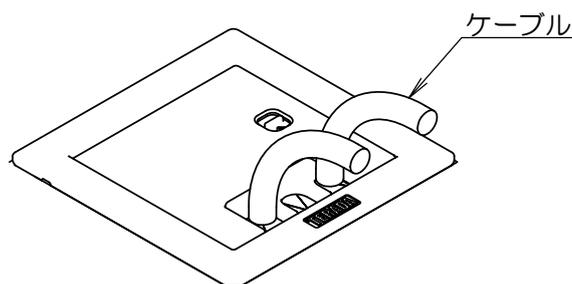
3 通線チップを反転させる

ケーブルの引き出し口となる通線チップを引き出し、反転させ、はめ込んでください。



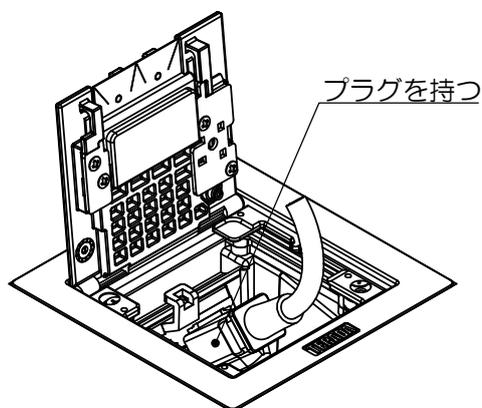
4 プレートフタを閉める

ケーブルを通線チップの切欠き部分に通し、プレートフタを「パチン」と鳴るまで、完全に閉めてください。



5 プラグを抜く時の注意点

プラグをコンセント面に対して垂直に抜き、コードは引っ張らないでください。



※フロアプレート使用上の注意点

- ① 重い台車等を通り過ぎさせたり、机等の重量物を乗せたりしないでください。
- ② プレートフタは必ず閉じた状態で使用してください。
- ③ コンセント未使用時は通線チップを反転させないでください。
- ④ 通線チップは閉塞状態(1)又は通線状態(4)で必ず使用してください。
- ⑤ 通線チップやスライドボタンには負荷を掛けないでください。破損の原因になります。
- ⑥ プレートフタを開けたまま使用しないでください。プレートフタに踏み転倒する可能性や、ボックス内に足が入り怪我の原因になります。また、プレートフタが開いた状態で荷重が掛かるとプレートフタの破損に繋がります。

■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361

CEA, CEDシリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書も含め添付品をお客様へお渡しください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告



禁止

- ◆製品の分解・改造はしないでください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。
⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。



必ず守る

- ◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。
⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
- ◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



注意



禁止

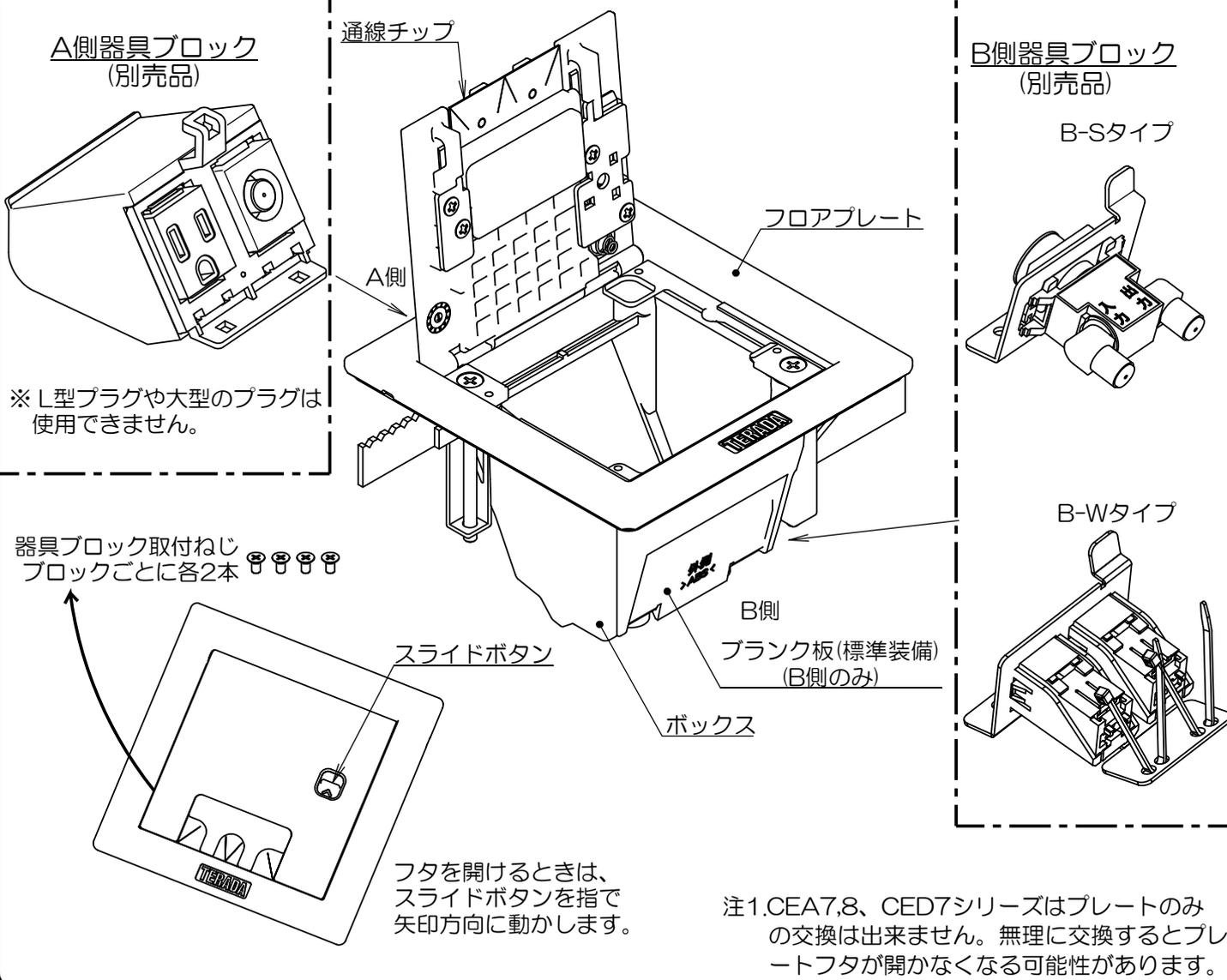
- ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。
⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
- ◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。
⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
- ◆通行の障害となる様な場所や机の下部、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。
⇒製品の破損・故障の原因となります。
- ◆床暖房が施されている床に施工しないでください。
⇒結露し漏電・感電の原因となります。



必ず守る

- ◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆床に堅固に取付けてください。
⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

◆部品構成と名称



施工方法

フロアパネルに施工する場合

1 フロアパネルの開口寸法の確認

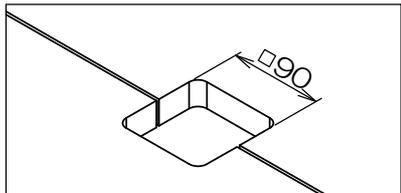
適合パネルについては弊社カタログの対応表をご参照ください。

開口寸法 □90mm(一部パネル除く)

パネル厚：2~26mm

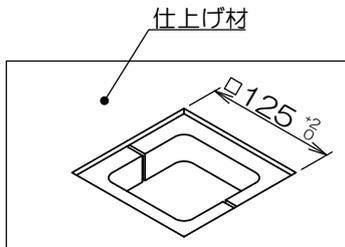
パネル床高 80mm

※TVユニット(中継)を搭載の場合(90mm)



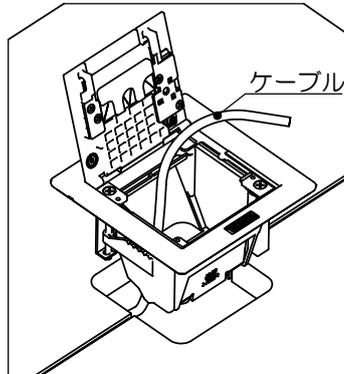
2 床仕上げ材の開口寸法

床仕上げ材開口寸法：□125mm



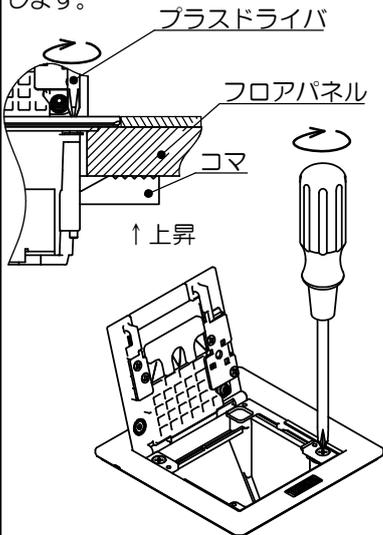
3 ケーブルの引き入れ

ケーブルをフロアパネル開口部から引き出し、ボックス内に引き入れてください。



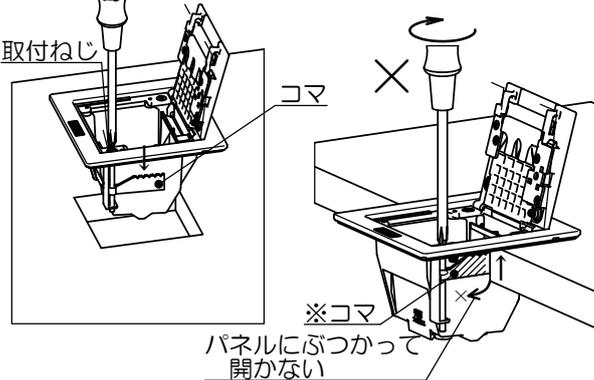
4 ボックス固定

取付ねじを回し、コマを上昇させ、ボックスをフロアパネルに固定します。



5 ボックス固定時の注意点

フロアパネルへの取付をやり直す場合は、必ず取付ねじを反時計回りに回して、コマを一番下に下げてからやり直してください。

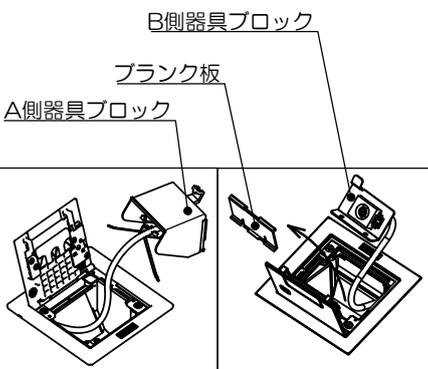


※コマ
パネルにぶつかって開かない

※パネル断面にコマが引っかかり、パネル裏面に引っかかることが出来ません。さらにそのまま締め付けると、コマが本体自身を締め付けてしまい、本製品の破損の恐れがあります。

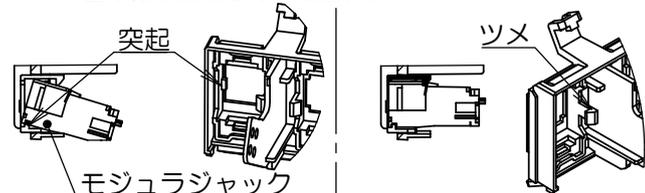
6 器具ブロックへの結線

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続します。B側器具ブロックを使用の場合はブランク板を取り外し、配線器具に接続します。配線方法については各器具の配線方法に従ってください。ケーブルは張力が掛からないように結束バンドで固定してください。



7 モジュラジャック取付時の注意点

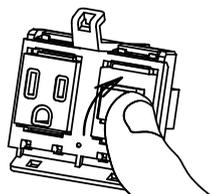
モジュラジャックを器具ブロックへ取り付ける際は下図の様に固定してください。



1.モジュラジャックを傾け樹脂枠の突起にはめる。

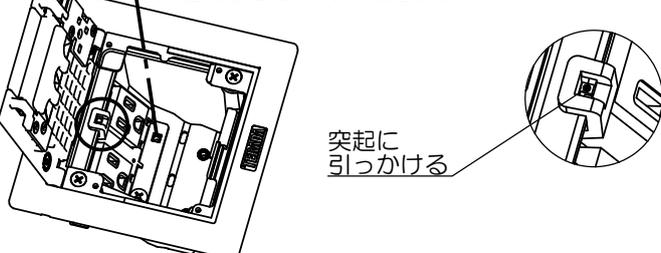
2.ツメで固定する。

モジュラジャックを取り付けた際は、脱落しないかどうか指で押して確認してください。

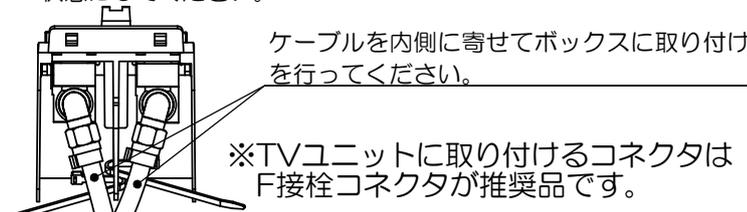


8 器具ブロックの固定

器具ブロックをボックス底面にねじ止めします。そのとき必ず器具ブロック上部の角穴を、ボックス内の突起に引っかけてください。



また、TVユニットを使用する場合は、ケーブルを下図のような状態にしてください。



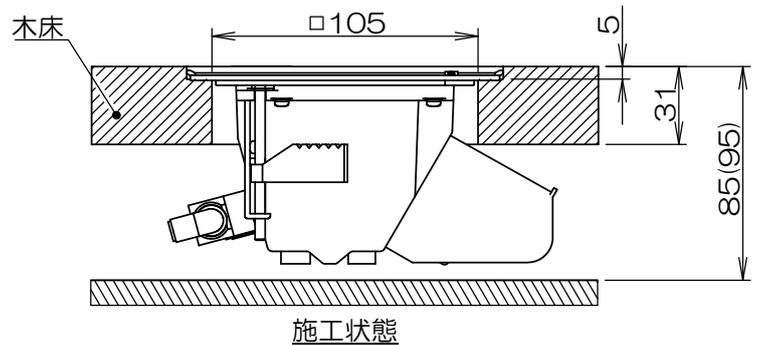
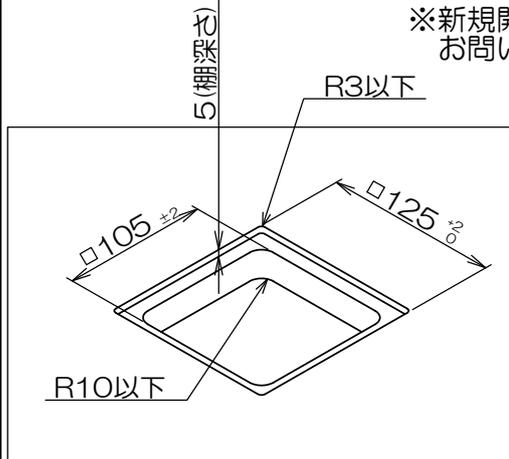
施工方法

木床、フローリングに施工する場合

1 木床仕上げの場合の開口寸法

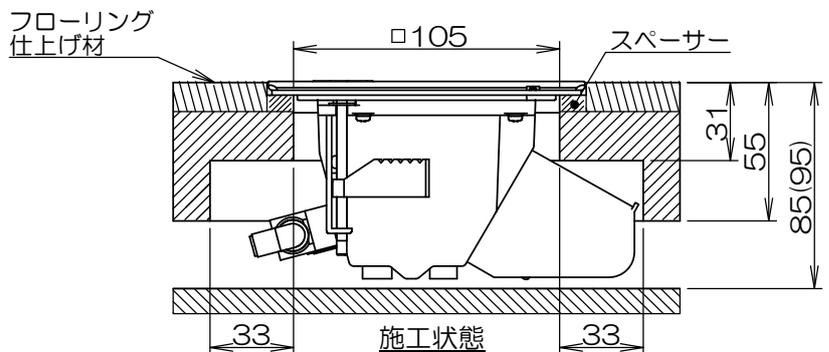
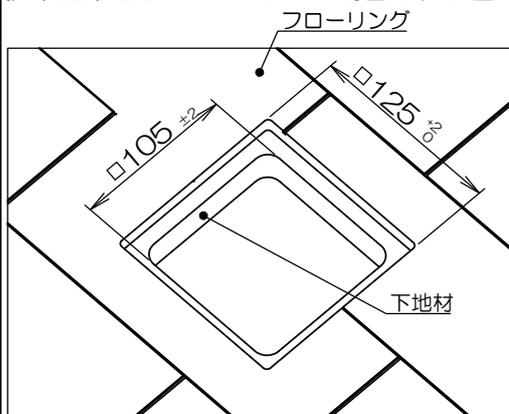
木床仕上げの場合は、 $\square 125\text{mm}$ で棚加工し、 $\square 105\text{mm}$ で開口してください。必要床高寸法は85mm。ただし、A側器具ブロックにTVユニット(中継)を搭載した場合は95mmになります。

※新規開口を施した場合、強度以下の恐れがありますので床材メーカーにお問い合わせください。



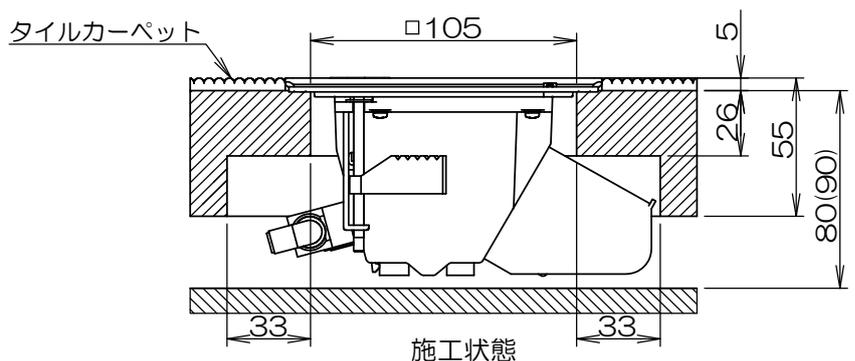
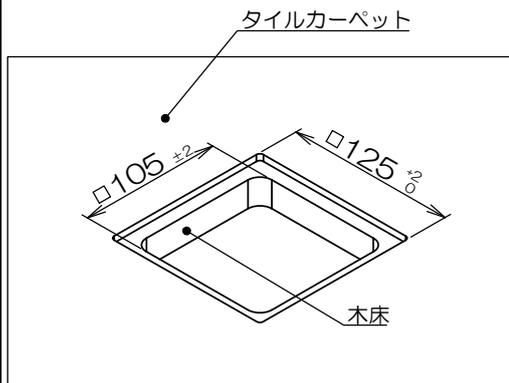
2 フローリング仕上げの場合の開口寸法

フローリング仕上げの場合は、棚加工の代わりに仕上げ材を $\square 125\text{mm}$ 、下地材を $\square 105\text{mm}$ で開口してください。床仕上げ材の厚さにより、スペーサー(別売)による高さ調整が必要な場合があります。必要床高寸法は85mm。ただし、A側器具ブロックにTVユニット(中継)を搭載した場合は95mmになります。挟み込み寸法31mm以上の場合は、下図のような加工が必要です。開口部はセンターを合わせてください。



3 タイルカーペット仕上げの場合の開口寸法

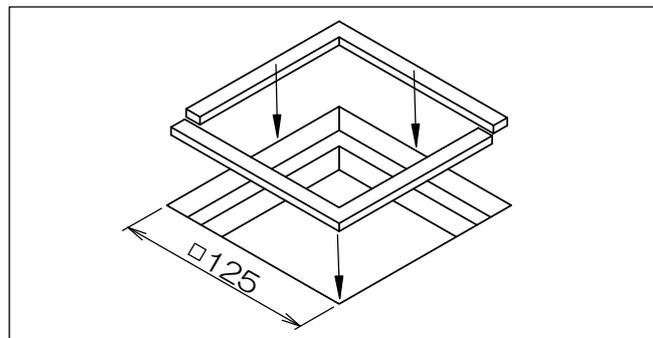
タイルカーペット仕上げの場合は、木床を $\square 105\text{mm}$ 、タイルカーペットを $\square 125\text{mm}$ で開口してください。必要床高寸法は80mm。ただし、A側器具ブロックにTVユニット(中継)を搭載した場合は90mmになります。挟み込み寸法26mm以上の場合は、下図のような加工が必要になります。



別売オプション品

スペーサー(CEA0000「」)

フローリング等に棚加工をして取り付ける際に、床仕上材と段差ができてしまう場合に使用します。2枚一組で棚部分に貼付してください。



厚さ 1mm: CEA00001
3mm: CEA00002
5mm: CEA00003

開口治具 (TWD00090CE/TWD00105CE)

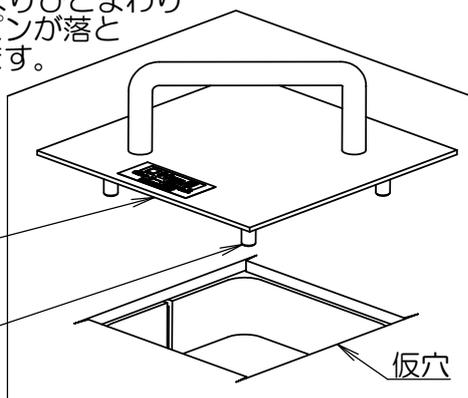
タイルカーペットをプレート外形(□125mm)で切り抜くための治具です。

(1) パネル開口部分よりひとまわり大きい、ガイドピンが落とせる仮穴をあけます。

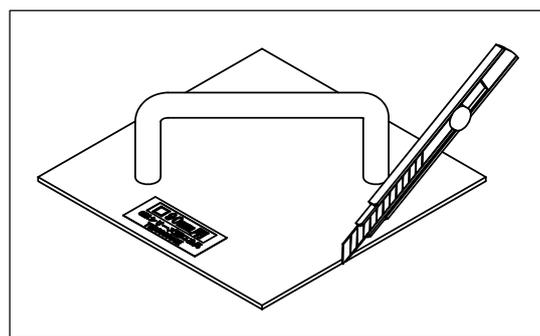
(2) 治具のピン4本が穴におさまるように置いたあと、外形に沿ってカッターで切り抜きます。

□90mm用:
TWD00090CE
□105mm用:
TWD00105CE

ガイドピン

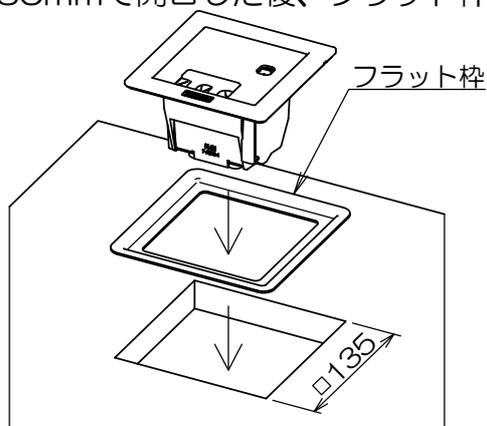


仮穴



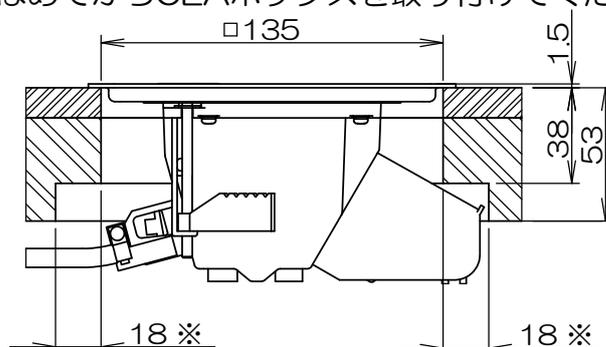
簡易バリアフリー用フラット枠 (CEA93000)

木床に棚加工をしなくても取付けできるようにするためのオプションです。木床を□135mmで開口した後、フラット枠を穴にはめてからCEAボックスを取り付けてください。



フラット枠

□135



挟み込み寸法が38mm以上の場合は、
図中※のような加工が必要になります。

■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361